

キャンパス・サポーター (障がい学生支援) 募集

障がいのある学生が障がいのない学生と同様に授業を受けることができるよう、支援をしてくれる学生を募集しています。



UDトーク誤変換修正、パソコンテイク、ノートテイク、板書テイク、対面朗読、手話通訳、教材のテキストデータ化、音声データの文字おこし、車椅子介助、移動ガイド、文献検索支援など



キャンパス・サポーター(障がい学生支援)にご登録いただきますと、支援依頼メールが届きますので、興味がありましたらご応募ください。

支援活動には、謝金をお支払いします。ご自分の授業予定に合わせて、活動可能な時間に協力してください。

キャンパス・サポーターへの登録は、右下のQRコードを読み取り、オンラインにてお申込みください。

サポーター向けの研修を企画しておりますので、是非ご参加ください。



支援活動を行う前に、傷害保険、賠償責任保険に必ず加入してください。

オンライン登録用QRコード



興味・関心のある方は障がい学生支援室(学生センター2階

③番窓口)までお気軽にお問い合わせください。

Tel: 045-339-3118

Email: shougai.shien@ynu.ac.jp



キャンパス・サポーターの先輩からの声

Q1 サポーターになろうと思ったきっかけは？

- ・ サークルの先輩からの紹介です。(理工学部4年)
- ・ 身近に聴覚障がいのある人や、支援をする人がいたことです。(経済学部3年)
- ・ 先生からの紹介です。(国際社会科学府2年)

Q2 どんな活動を担当している？

- ・ 聴覚障がいのある学生さん向けの支援です。利用学生の、いわば「耳」の代わりとなって、授業の会話の内容や先生が話す内容を二人のサポーターが手書きで文字におこし、情報の保障を行っています。(理工学部4年)
- ・ 聴覚障がいのある学生さん向けに、配信用の授業動画に字幕をつける作業を担当しています。(理工学部4年)
- ・ バリアフリーマップの作成や、車いす利用学生のための、昇降機(高さを変えられる車いす利用者用の机)が教室の正しい位置にあるか、スロープに通行の妨げになるようなものがないかの確認をしています。(経済学部3年)

Q3 サポーター活動をして、よかったと思うことは？

- ・ 自らの当たり前が当たり前でないということに気付き、受取手のことを考えた発話や表現を心がけるようになったことです。身の回りに目を向けるようになり、気付かなかった工夫に気付けるようになりました。(経済3年)

Q4 サポーター活動の中で難しいと感じることは？

- ・ 限られた時間内に、質の高い支援を行わなければならないので、特に初回は大変さを感じると思います。支援は複数人で連携して行うことが多いと思いますので、仲間を信頼しながら自分にできることをすることが大切です。(理工学府1年)

Q5 これからサポーター活動を始めてみようと思う方へのメッセージ

- ・ ぜひ一緒にみんなが過ごしやすい大学を作っていきましょう。タイピングスキルなどは後から身に着ければいいので、ぜひ少しでも興味があれば、登録してみてください。一緒に活動できるのを楽しみにしています。(経済学部3年)
- ・ 私も初めは緊張しましたが、ペアのサポーターさんや利用学生さんとの交流ができ、充実した活動ができると思います。(理工学部4年)



←先輩の声をもっと知りたい方はこちら

